

令和5年度第1回庄内町文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年7月5日(水) 9時30分～11時50分
- 2 開催場所 庄内町役場B棟2階 会議室1
- 3 出席委員 池田孝一、坂本慶治、佐藤 浩、澤田美代治、志田重一、菅原恵美子、菅原昭治、渡部厚生
- 4 欠席委員 長南敬之
- 5 事務局 社会教育課長、社会教育課主査兼社会教育係長、社会教育係主任

-----  
進行：社会教育課長他

委嘱状交付 (教育長欠席のため、社会教育課長より委員代表に交付。)

- 1 開 会 社会教育課主査
- 2 教育長挨拶 (代理：社会教育課長)
- 3 庄内町文化財保護審議会について  
《資料により事務局説明》
- 4 自己紹介
- 5 会長及び副会長の選任  
委員の互選により会長に志田重一委員、副会長に菅原昭治委員を選出。
- 6 会長あいさつ
- 7 報 告 (座長：会長)
  - (1) 令和4年度清河八郎関係資料調査報告について  
《資料により調査員である菅原副会長より報告》
    - ・西郷隆盛の足跡調査
    - ・清河八郎関係「聞書雑書」
    - ・「私乗後篇」その1
    - ・「清川八郎贈位ノ願ノ件ニ付照会」その1**【副会長】**教育委員会から補助金をいただきながら徳田武先生に解説をお願いしている。白文と書き下し文の両方を電子化して、教育委員会への報告資料としている。
  - (2) 令和5年度文化財保護関係事業について

《資料により事務局報告》

(3) その他

- ①上朝丸八幡神社甲冑について
- ②払田の地蔵のマツ支障木について
- ③庄内の土人形調査について

《資料により事務局説明》

【委員】上朝丸の甲冑の件だが、これは発表だけで終わるのか。それともこれからも続けるのか。箱は芳賀樹助の名が書いてあるが、箱の中身の甲冑と年代が同じなのか、そこもわかれば確認したい。

【会長】事務局では上朝丸の方々にどう報告しているか。

【事務局】12月に委員と神社にお邪魔して状況をお話しした。その後2月の会議の後に、芳賀樹助という人物の年代を調べているところである旨を、当時の上朝丸自治会長に電話報告している。その後委員の調査で幕末の人物であるという年代がわかったということ、県文化財保護審議会委員の先生へ連絡。上朝丸の会長が代わったため、また動きあったときは連絡する旨を新会長に話している。

【会長】これからどういう形でそれに当審議会が関わっていけばいいのか。

【事務局】年代がわかった時点でストップしているところだが、調査進めるべきか専門的なご意見をいただきたい。

【委員】先生に紹介していただいたのはありがたい話だが、箱は7代目の樹助という人の名前で、中身も7代目なのか、ということを知りたい。それから、今後どうするのかということ。この2つを知りたい。

【事務局】箱と中身の年代が違うところまでは先生にお話はしていない。箱に芳賀樹助という名前が書いてあるが、その人物はいつの年代の人物かという質問なので、委員が調べてくださった、そういう話になっている。

【委員】箱だけ新しいのか、箱も甲冑も新しいのか古いのか、文化財指定に向け進めるのが難しいというのがわかれば、それでもいい。

【事務局】それが今まだわからない状態。

【委員】それを聞いてもらいたい。

【事務局】現物を見てもらってということになると思うが、その段階になる前に、写真を先生にお送りした。それを見る限り、専門家から見ると、触るだけでもパーツが崩れてしまう危険性があるということだった。

【会長】事務局から氏子関係者の方々に現状と、結論まではまだまだ時間がかかるということ、最終的には氏子の方々の判断となることの報告を。

【副会長】審議会としては主に指定文化財について意見交換するのが普通。最終的には町指定文化財になれば町補助金も期待できるが、町指定文化財に届かないようであればそれも難しい。町指定文化財になればそうかなれないか。そこを県文化財保護審議会の先生からアドバイスをもらうのが一番いいのでは。

【委員】副会長が言うとおおり、指定の可能性、価値があるのかないのか、そこを判断してもらいたい。

【事務局】県文化財保護審議会の先生に、既にお送りしている写真から、現状で町指定の可能性があるかないか、お考えを確認する。あと、現状としてまだ時間がかかりそうだということを上朝丸

の新会長に報告する。以上を第2回会議で皆様に報告する。

## 8 協議（座長：会長）

### （1）調査審議（庄内町歴史民俗資料館の今後の方向性について）

《資料により事務局説明》

【会長】第2回会議まで結果を出すということか。前回会議の意見が委員各位の考え方だと思うが、これから第2回会議までどういう形で持つて行くのか。

【事務局】教育長へ調査審議結果を報告いただいて、それをもとに我々が最終判断する。

【事務局】それを一つの意見にするという意味ではない。委員各位の意見をそのまま調査審議の結果としたほうがよいのではと思っている。

【委員】立川地域の方々の意見を聞いたり、アンケートなどをとったりしたことはあるのか。

【事務局】地域全体の、興味ある人もない人も全部含めてどう考えているかというような調査はしたことがない。アンケートをとるとのこと自体も慎重に考えたいところではあるが、まちづくりセンターなどで何かを話し合うときに、そのことについても意見をお聞きすることができれば、いい意見がいただけるのかなと思う。

【委員】個々の意見でいいのであれば、議題にあげる必要はない。とにかく保存はして欲しいが、あの場所では良くないというのがほとんどの意見。それに集約されるのではないか。ただし、清川大庄屋御居間は清川へ、本来あるべき場所に戻すというのも付帯した意見としてなっているように思う。

【委員】前回の委員の意見にみなさんの創意が結集しているような感じがする。私の個人的な意見としては、考古資料館といったような用途で使ってもらえないかという考え。

【事務局】集約できるということであればそれはそれでいいと思う。しかし、皆さんからいただいた一人一人微妙に違う意見が、一つに集約することで消えてしまうため、すべての皆さんの考えを報告できるようにしたいと思い提案したところだったが、ご意見踏まえ集約してまとめることとする。

### （2）指定文化財説明板について

《資料により事務局説明》

### （3）その他

【委員】事務局にお願いしたいのだが、八幡公園に2本の桜の古木があったが、一本切り倒された。中が空洞になっていたのでやむを得なかったのかもしれないが、非常に歴史のある桜で、もう一本のほうも切られたら大変だなと思った。昔から学校の玄関脇にあった桜ということで、記念になる桜ではないかということで、文化財指定の対象になるのかどうか見てもらいたい。西側に松の大木の並木があるが、それも昔の学校の防風林だったということで記念になる木だというような標識が建てられないものか、あるいは指定文化財として価値があるのかどうか調べてもらいたい。

【会長】次回会議まで事務局より報告を。

## 9 その他

- ・情報提供（月山大満原地区のマダラナニワトンボの生態について）  
《資料により事務局説明》

10 閉 会 社会教育課長

これまで皆さんからいただいた意見を集約したものを、9月26日第2回会議の前に事前送付の上で再度検討いただき、最終的に町長、教育長に報告していきたいと考えている。その他、新しい図書館の運営の仕方、また本来、図書館と内藤秀因水彩画記念館がどういった役割を担うべきかということを改めて再構築していきたいと思う。これからも皆様方からご意見を願います。